

「在宅ケアマインド」の目標と学年による進捗

学年	目 標	必修実習科目	選択実習科目等
4 年 次	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象者を「患者」ではなく、地域での「生活者」としてとらえ、施設内看護、外来看護、地域看護、在宅看護を実践できる。 2. 一人一人の暮らしや生き方を尊重・理解し、個別性の高い支援を創造し実践できる。 3. 対象者が適切な医療やケアを適切な場所で受けながら、自分らしい療養生活が送れるように、情報提供、意思決定の支援、退院調整、退院支援、在宅療養支援及び支援体制整備について理解し、指導を受けながら実践できる。 4. 課題解決のために多職種との協働、地域を基盤にした医療保健福祉の人的物的制度的資源を活用する知識を持ち、指導を受けながら実践できる。 5. 将来、療養生活支援の専門家として、支援チームの発展に貢献する方法を理解できる。 6. 自己の生活スキルを確立することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学総合実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・助産・助産管理学実習 ・地域看護学実習
3 年 次	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象者を「患者」ではなく、地域での「生活者」としてとらえ、施設内看護、外来看護、在宅看護を実践できる。 2. 一人一人の暮らしや生き方を尊重・理解し、個別性の高い支援を創造し、指導を受けながら実践できる。 3. 対象者が適切な医療やケアを適切な場所で受けながら、自分らしい療養生活が送れるように、情報提供、意思決定の支援、退院調整、退院支援、在宅療養支援及び支援体制整備について理解し、指導を受けながら実践できる。 4. 課題解決のために多職種との協働、地域を基盤にした医療保健福祉の人的物的制度的資源を活用する知識を持ち、指導を受けながら実践できる。 5. 将来、療養生活支援の専門家として、多職種間の連携・協働の在り方を理解できる。 6. 自己の生活スキルを確立することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習（成人・老年・精神・母性・小児・在宅） ・チームワーク実習：看護学専攻教員担当グループは、患者は地域での生活者であるという視点を盛り込む 	<p><地域貢献></p> <ul style="list-style-type: none"> がん関連の地域イベント ・リレーフォーライフ ・がんサロン ・市民講座
2 年 次	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象者を「患者」ではなく、地域での「生活者」としてとらえ、施設内看護、外来看護、地域看護、在宅看護の特徴について理解できる。 2. 一人一人の暮らしや生き方を尊重・理解し、個別性の高い支援を創造できる。 3. 対象者が適切な医療やケアを適切な場所で受けながら、自分らしい療養生活が送れるように、情報提供、意思決定の支援、退院調整、退院支援、在宅療養支援及び支援体制整備について理解できる。 4. 課題解決のために多職種との協働、地域を基盤にした医療保健福祉の人的物的制度的資源を活用する必要性を理解できる。 5. 将来、療養生活支援の専門家として、支援チームを構成する多職種の役割について理解できる。 6. 自己の生活スキルを確立することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護学実習：看護過程 ・生活援助技術実習Ⅱ：演習（採血、浣腸、吸引、注射等） 	<p><地域貢献></p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病サマーキャンプ
1 年 次	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象者を「患者」ではなく、地域での「生活者」としてとらえることができる。 2. 一人一人の暮らしや生き方を尊重・理解できる。 3. 自己の生活スキルを確立するために努力できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護早期体験実習 ・生活援助技術実習Ⅰ：演習（安楽尿器、ポータブルトイレ、口腔ケア、清拭・洗髪等） 	<p><地域貢献事業></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.国際・地域ボランティア研修（まちなか交流サロン） 2.多職種協働による子どもの育ちと親支援事業